

# 今月の安全運転管理

## 猛暑時も 万全対策で 安全運転

### ①体調を管理して過労運転を防ぐ

- 運転者に体調管理を指導しよう
- 疲れを溜めないために余裕のある運行計画を立てよう

### ②夏の交通安全県民運動【7月11日(日)～20日(火)】

- ※県内一斉大監視 7月15日(木) 午前7時～午前9時
- 運転適性診断・交通安全テストの実施



#### 運転者の健康状態を 確認しよう

夏の暑さが本格的になるこの季節は、運転者は疲労を溜めやすくなります。

そこで、疲労等による交通事故を防ぐため、運転者の健康状態には十分に注意しましょう。

管理者としては、朝礼や点呼時に、食欲の増減・倦怠感の有無・睡眠時間等、運転者の体調に変化がないかを確認しましょう。

例えば、睡眠時間が短い場合は、夏場の寝苦しさから睡眠不足に陥っている可能性があります。睡眠不足は居眠り運転を招き、やがては重大事故につながるおそれがあります。快眠のために就寝時には空調を調整するなど、運転者の体の不調に合わせた適切なアドバイスを行いましょつ。

また、令和三年四月より、

「熱中症警戒アラート（環境省・気象庁）」による暑さ指数の情報提供が始まりました。このような情報もうまく活用し、熱中症の予防にも努めましょう。

#### 余裕のある運行計画を立てよう

運転計画を立てるときに渋滞等を予測しないでいると、休憩がとれずに長時間運転となり、運転者の疲労を強めることがあります。

また、時間に余裕がなくなることから、急ぎの心理に陥り、速度超過などで事故につながる危険性があります。

そのため、過労運転等にならないように時間に余裕のある運行計画を立てましょつ。

特に長距離を運転する場合は、疲れを感じていなくても、二時間に一度は必ず休憩をとるように指示することで、運転者が常に時間や心に余裕を

もって運転できるよつにましょつ。

#### 夏の交通安全県民運動に参加しよう

「夏の交通安全県民運動」が、七月十一日(日)～二十日(火)にかけて実施されます。新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、従業員の安全運転意識を高める活動を展開しましょつ。

例えば、運転適性診断を用いて自分自身の運転傾向を把握させたり、交通安全テストで交通法規を再確認させると良いでしょつ。

このほか、期間中に「県内一斉大監視」や、「E」と「セーフティ」〇〇日間無事故・無違反運動も実施されます。

期間中はいつも以上に安全運転を意識し、従業員全員が無事故・無違反を達成できるよつ、活動に取り組みましょつ。